



目黒 公郎

防災に貢献する魅力あるビジネスを一緒に考えませんか？

防災ビジネスの創造と育成のための特別研究会

RC-63

1. 代表幹事

目黒公郎（東京大学 生産技術研究所 教授）

委員

加藤佳孝（東京大学 生産技術研究所 准教授）

加藤孝明（東京大学 生産技術研究所 准教授）

秦 康範（山梨大学 准教授）

遠藤貴宏（東京大学 生産技術研究所 助教）

沼田宗純（東京大学 生産技術研究所 助教）

近藤伸也（東京大学 生産技術研究所 ICUS特任研究員）

佐藤唯行（NPO法人シュアティ・マネジメント協会理事長）

連絡先

目黒公郎

Tel : 03-5452-6436

Fax : 03-5452-6438

e-mail : meguro@iis.u-tokyo.ac.jp

tmina@iis.u-tokyo.ac.jp

2. 主旨

わが国は、地球科学的な立地条件を背景に、実に様々な自然災害の多発する地域に存在している。特に最近では、活動期に入ったといわれる地震をはじめ、風水害や環境悪化の危険性の高まりが指摘され、わが国の自然災害リスクへの内外の関心が高まっている。このような状況の中で、将来の災害の影響を最小化するには、行政による防災対策だけでは不十分なことは言うまでもない。

このような状況を背景に、政府中央防災会議も民間活力を利用した防災力の向上、防災ビジネスの支援、防災対策を国民運動につなげる仕組みづくりなどを検討し始めている。しかし実績的にはまだまだ不十分であり、この状態を改善するには、大学研究者の参入が不可欠と思われる。そこで大学と産業界が協働し、双方の知恵と資源を有効活用し、防災対策の向上を実現する新しい魅力ある防災ビジネスの創造と育成をめざす研究委員会を設立することにした。

本委員会では、大学研究者と防災ビジネスに興味を持つ企業の方々、災害による将来の被害を最小化する環境整備を目的とした研究と活動を実施する。具体的には大学研究者と参加会社が相互に防災技術に関する情報を交換するとともに新しい防災ビジネスを展開する上での技術的・制度的課題の抽出と分析を行う。そしてその結果に基づいて解決策を検討・提案し、さらにその解決策を産学協働の新しい防災ビジネスモデルにつなげ、育成するための戦略を考える。

防災に適用可能と思われる技術をお持ちの企業の皆さん、アイデアはあるがそれを実現する術に困っている企業の皆さん、大学の研究者と知恵を出し合って将来の減災に貢献する魅力的な防災ビジネスを展開する方法を考えませんか。

最終年の本年度は、下の運営方法で説明するWG1からWG4（特にWG3とWG4）に関して研究成果をまとめる。

3. その他

期 間：平成20年4月～平成23年3月まで（平成21年度までの成果を踏まえ、研究期間を1年間延長します。）

参 加 費：賛助員の場合（賛助会費一口10万円）：参加費10万円

非賛助員の場合：参加費20万円

定 員：特になし

運 営 方 法：年5回程度の全体会以外に、WGの活動を行う。本年度は研究会の最終年度として、過去2年間の成果（主にWG1からWG3）を踏まえ、WG3のデータの充実とWG4の検討を中心に進める。WG1（防災ビジネスを実践する企業による商品の紹介および評価）、WG2（災害定義とその事象特性分析）、WG3（防災プロファイラーとデータベース構築）、WG4（WG3の成果を活用して、WG1で紹介した防災ビジネスモデルの課題分析、「いいね」を「欲しいね」に変えるために）。大学研究者と参加会社が相互に防災技術に関する情報を交換し、新しい防災ビジネスを展開する上での技術的・制度的課題の抽出と分析を行う。そしてその結果に基づいて、解決策を検討・提案するとともに、その解決策を産学協働の新しい防災ビジネスモデルにつなげ、育成するための戦略についても考える。